

宮崎大学教育学部
就職委員会ニュース

キバナノホトトギス(黄花の杜鵑) 学名：*Tricyrtis flava*, ユリ科

宮崎県固有植物。環境省の「レッドリスト2020」で絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)に指定されている。10月上旬頃、斑点のある黄色い花を咲かせる。県内の分布は広く、宮崎大学やその周辺でも見られるが、減少している場所もある。



平成11年に発行した第1号から数えて第24号目 令和4年の「就職委員会ニュース」をここにお届けいたします。小誌が保護者、学生及び大学の連携の一助となれば幸いです。



日頃より、教育学部の教育活動にご理解とご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。今年も、就職委員会ニュースとして、就職に関する最新の情報等をお届けいたします。

令和3年度卒業生の就職の状況についてです。右ページの表に示す通りですが、令和2年度のデータと比較してみましょう。

教員としての正規の就職者数は、令和2年度は45名だったのに対して、令和3年度は64名に増加し、臨時での就職者数は25名から16名に減少しました。また、合格率で見ると、令和2年度から令和3年度は、小学校（72%→78%）、中学校（39%→62%）と高等学校（0%→25%）、特別支援学校（80%→100%）と向上しております。現在はまだ、小学校の採用枠が大きく、試験の倍率も2倍を切る状況（宮崎県の場合）が続いているため、合格率も高くなっており、小学校と中学校で迷っている人は小学校を受けた方が合格の可能性は高くなると思います。ただ、去年の結果を見ると中学校の合格率も高くなってきていますし、今年の4年生も1次の結果のみですが、80%の方が合格しています。努力次第で中学校教員の現役合格の夢も掴むことができるということかもしれません。

さて、就職委員会は、学生の皆さんの採用試験合格に向けてサポートする委員会で、様々な取り組みをしています。1次試験対策として「プログレッソ」の講座を開講しています。こちらは学生さんにも受講料の負担をお願いしていますが、同様の他の受験予備校の講習費用からするとずいぶんリーズナブルな金額で受講することができます。2次対策としては3月からスタートしており、時間をかけて力をつけてもらうための講座を準備しています。そのほかにも、合格した4年生を招いての集中セミナーや、本学部教員による対策講座、OBの方による面接・模擬授業対策講座、教職大学院の現場経験のある先生方による講座などを開講しています。このように多くの対策講座を実施していますが、学ぶ主体は学生さんたちです。多くの講座が準備されていてもそれに参加しようとしなければ、その恩恵は受けられません。やはり、自ら進んで開講講座に参加して学ぼうとする「意欲」と「行動力」が目標実現の大きなカギになると思います。積極的に講座に参加して、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら合格を目指してほしいと思います。

これからも、就職委員会として「先生になりたい」という学生さんの夢を叶えるためのお手伝いを、しっかりとしていきます。

就職委員会 委員長 日高正博

就職全般

<令和3年度卒業生の就職の状況>

区分 課程	卒業生	進学者	教員											
			小学校		中学校		高校		特別支援		幼稚園		小計	
			正規	臨時	正規	臨時	正規	臨時	正規	臨時	正規	臨時	正規	臨時
学校教育課程	124	15	37	8	15	6	2	1	6	0	4	1	64	16

区分 課程	公務員	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	教育学習支援業	農業	飲食・宿泊業	情報・通信	小計	合計	
											正規
学校教育課程	3	0	1	2	1	11	1	4	1	24	119

<宮崎県教員採用試験の校種ごとの倍率(過去4年間の推移)>

採用年 校種	平成31年4月採用			令和2年4月採用			令和3年4月採用			令和4年4月採用		
	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率
小学校教諭	412	229	1.8	330	191	1.7	401	220	1.8	351	220	1.6
中学校教諭	407	77	5.3	359	70	5.1	376	71	5.3	362	81	4.5
高等学校教諭	360	32	11.3	356	43	8.3	392	34	11.5	363	53	6.8
特別支援学校教諭	141	25	5.6	139	30	4.6	143	33	4.3	144	33	4.4

<令和3年宮崎県教員採用試験(令和4年4月採用)教科ごとの倍率>

	小学校教諭	中学校教諭										
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語	計
受験者数	351	18	67	65	39	16	10	75	5	7	60	362
合格者数	220	12	14	16	13	2	2	9	1	1	11	81
倍率	1.6	1.5	4.8	4.1	3.0	8.0	5.0	8.3	5.0	7.0	5.5	4.5



	高等学校教諭																							特別支援学校教諭等			
	国語	世界史	地理	日本史	数学	理科			公民	書道	保健体育	美術	英語	情報	福祉	畜産	栽培	機械	電気	リニア	化学	土木	商業		機械	計	
						化学	生物	物理																			
受験者数	23	13	7	12	51	19	20	11	11	8	80	5	32	9	2	1	14	13	4	0	0	3	21	1	360	144	
合格者数	4	3	2	1	3	1	2	1	1	1	2	1	5	2	1	1	3	4	4	1	2	1	2	2	2	50	33
倍率	5.8	4.3	3.5	12.0	17.0	19.0	10.0	11.0	11.0	8.0	40.0	5.0	6.4	4.5	2.0	1.0	4.7	3.3	1.0	0.0	0.0	3.0	10.5	0.5	7.2	4.4	

令和5年度（令和4年度実施） 教員採用試験主な変更点 宮崎県編

宮崎県公立学校教員採用選考試験実施要項』より抜粋

(1) 第一次選考試験の会場について

県外会場は、東京会場、大阪会場、福岡会場とします。

(2) 加点制度について

ア 新たに次の加点項目を追加します。

- ・ 中学校・高等学校教諭等英語を受験する者で、英検1級などのC E F R C 1相当（文部科学省の示したC E F R対照表による）以上の英語力を有する者
- ・ 情報処理推進機構（I P A）が実施する情報処理技術者試験・基本情報技術者試験合格者又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者
- ・ 高等学校教諭等（「情報」を除く）を受験する者で、「情報」の免許状を所有する者
- ・ 特別支援学校教諭等を受験する者で、視覚障がい又は聴覚障がいに関する教育の領域の免許状を所有する者

イ 加点する点数を変更します

(3) 第二次選考試験について

ア I C Tを活用した試験を実施します。

イ 全ての受験区分、教科（科目）等の模擬授業の「実施教科、領域、単元名等」を、第二次選考試験受験者へ事前にお知らせします。

ウ 集団討論を廃止し、新たにグループワークによる試験を実施します。

(4) 特別選考試験について

ア 障がいのある者を対象とした特別選考試験においては、「身体障害者手帳」に加え、「精神障害者保健福祉手帳」、「療育手帳」の所有者も対象とします。

イ 大学卒業予定者を対象とした特別選考試験においては、「小学校教諭等」「中学校教諭等 国語」に加え、「高等学校教諭等工業」も対象とします。

各自治体の変更点については、
各県の実施要項やホームページ
で確認できます。



大学院修士課程在籍者又は 進学者に対する特例（宮崎県）

大学院修士課程又は専門職学位課程（教職大学院）に在籍又は 進学する第二次選考試験合格者の採用時の特例扱いについて

採用内定者が、教員としての資質及び能力の向上を目的として大学院の修学継続又は進学を希望する場合、本人の申し出により、要件を満たした者には「**名簿登載による1年間又は2年間の採用延期**」を認める。

詳しくは、教員採用選考試験実施要項に掲載がございます。



※宮崎県以外については、各都道府県の公立学校教員採用試験実施要項等でご確認ください。

令和4年度実施 教員採用試験 一次試験合格状況

	受験者数	一次試験合格者数
令和4年度実施	103名	93名

※延べ数

教職に関する講座の紹介

教育学部では、教員採用試験対策として、令和4年も多くの講座を実施しました。
1次試験対策として株式会社プログレッシブによる教職教養などの講座を開催しました。
(詳細については、次のページをご参考ください)

2次試験対策として、木犀会（教育学部同窓会）会員6名による「教採対策講座」は、令和4年7月28日と8月4日の2日間にわたり面接と模擬授業の練習を行い、総計76名の学生が参加しました。

また、学部・大学院の実務家教員による「教師力向上講座」は、令和4年7月～8月に面接と模擬授業および英会話講座を合計14回開催しました。

井之上健次郎先生の講座では、願書の書き方から、面接、模擬授業、場面指導、集団討論、グループワークまでを令和4年3月～9月で合計81回を行いました。

開催については、掲示板の他に学生への一斉メールでお知らせしています。またボランティアの案内等も同様に行っています。
教員として必要な知識・資質を身につける絶好の機会です。是非積極的な参加をお願いします。

主な講座

- ・木犀会(教育学部同窓会)による「教採対策講座」
- ・教職パワーアップ集中セミナー
- ・本学教員による「教職対策講座」
- ・学部・大学院の実務家教員による「教師力向上講座」
- ・教員採用試験二次対策講座
- ・「宮崎大学×プログレッシブ」による講座



二次対策講座説明会



木犀会(教育学部同窓会)による
二次対策講座



教職パワーアップ集中セミナー



教師力向上講座

宮崎大学×プログレッション

教員採用試験教職教養講座

株式会社プログレッション（大学向けに「教員採用試験対策講座」を行っている企業）に依頼して本講座を実施しています。

開講期間：令和4年11月～令和5年3月
開講科目：教職教養など（60時間程度）
授業料：令和3年度実績 50,000円

※令和4年10月12日(水)に学生向け説明会を開催



令和3年度 「宮崎大学×プログレッション」
による教員採用試験対策講座

令和3年度の受講者数

教育学部	58名
他学部	2名

受講者からの感想

今回、教員採用試験の講座を受講したおかげで、教採の勉強にとってもいいスタートがきれたと思います。どこから手を付けてよいかわからない膨大な量の範囲から、特に重要な部分を抜粋して学ぶことができました。また、12月から講座を受けることで、大学の勉強から教採の勉強にうまくシフトできたと思います。ありがとうございました。



教職以外の就職について



就職活動の流れ『公務員』

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	教養試験対策として大学入試共通テスト程度の基礎学力を維持する（～4年）											
2年	「教養試験と専門試験」がある公務員（主に県職員・国家一般職）を目指すのか、「教養試験」だけの公務員（主に警察・市町村職員）を目指すのか進路を決定する 各種の参考書や受験雑誌を購読して受験勉強を始める											
3年	予備校の集中講座に参加する等して実力向上を図る											
4年	受験先を決めて勉強に集中する											

就職活動の流れ『企業』

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1・2年	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の新聞を読む ・TVニュース・ニュース解説などを見る ・幅広い読書週間を身につける ・部活動やボランティア活動に参加する 											
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析・自己理解（7・8月） ・業界・就職研究（8～10月） ・業界・企業選択（11月・12月） 											
	<ul style="list-style-type: none"> ・志願動機形成（1・2月） ・資料請求（3月～） ・企業セミナー（企業説明会）会社訪問（3月～） 											
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・採用試験（6月～） ・採用内定・採用内定の承諾または辞退、受験結果を教務・学生支援係に報告（6月～） 											

主な就職先（公務員）

（令和2年度卒業生）

内閣府
九州財務局
宮崎市役所
延岡市役所
堺市役所
佐世保市役所

（令和3年度卒業生）

宮崎市役所
五島市役所
日向市役所

主な就職先（企業）

（令和2年度卒業生）

株式会社宮崎銀行
国立大学法人鹿屋体育大学
国立大学法人大分大学
公益財団法人宮崎県学校給食会
日本KFCホールディングス株式会社
株式会社ファーストリテイリング
（ユニクロ・グローバルリーダー）
タリーズコーヒージャパン株式会社
株式会社クレディセゾン
一般社団法人FC徳島スポーツクラブ
独立行政法人国立病院機構九州グループ
大牟田病院
児童養護施設さくら学園
社会福祉法人副祥福祉会（豊泉家）
社会福祉法人南高愛隣会
放課後ディサービスあさひがおか
社会福祉法人三扇福祉会
幼保連携型認定こども園ソレイユ
株式会社マルイチ
株式会社プラスディー
植松石油株式会社
株式会社ボラシエア

（令和3年度卒業生）

株式会社ソルトコンソーシアム
株式会社中の坊
株式会社ドトールコーヒー
株式会社ヒューマン・ライジン
ナビ個別指導学院
アスリートリンク
株式会社マルイ食品
株式会社麻生キャリアサポート
公立学校共済組合本部
株式会社日本瓦斯
株式会社クボタ住宅
株式会社個別教育舎
株式会社伊予銀行
株式会社GMO NIKKO アドキャンプ
株式会社日能研関西
学校法人洗心学園幼保連携型認定こども園
幼保連携型認定こども園こどもの家
学校法人慈光学園ひかり幼稚園
学校法人みゆき学園認定こども園高千穂幼稚園
学校法人江楠学園認定こども園にじのはねこども園

宮崎大学 キャリア支援について

- アドバイザーによる、就職に関する相談、素朴な疑問や悩みを気軽に相談いただけます。
- 就職活動において役立つセミナーやガイダンスを定期的に行っています。
- 宮大生向け求人票を学部情報システム（わかば）に掲載しています。

詳しくは学生支援課キャリア支援系のホームページをご確認ください！

ホームページはこちらから↓

URL：

<http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/jobinfo/jobcareea-ad.html>



本田 廉 現 宮崎市立大宮小学校

(教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻 令和4年3月卒業)

私は、三月に宮崎大学を卒業し、小学校の教師となりました。現在、宮崎市立大宮小学校で五年生の担任をさせて頂いています。小学校二年生の頃から追いかけていた夢がようやく叶い、たくさんの子どもたちに囲まれ、毎日楽しく過ごしています。

四月になり同僚の先生方や子どもたちに「先生」と呼ばれる立場となり、「自分は教師になったのだ」と実感し嬉しく思う反面、その責任の大きさや自覚も生まれてきました。配属当初はやるべきことも多く、毎日非常にあわただしく、あっという間に一日一日が過ぎていきました。分からないことも多く、不安が大きかったことを覚えています。しかし、いつも同僚の先輩方が手を差し伸べてくださりアドバイスして下さいます。良い所は褒めてくださいます。迷って当たり前。あとは自分自身が人に頼る勇気を出すことだと思います。私たちは一人じゃありません。学校が一丸となってチームとして動いています。みなさんも悩んだり困ったりしたときは一人で抱え込まないで頼りになる先輩先生方に聞いてほしいと思います。私と同じようにきっと皆さんの力にもなって下さるはずです。

さて、私が教師となり約半年が過ぎました。半年間の間に楽しいこと、嬉しいこともたくさん経験してきました。もちろん楽しいことばかりではありません。毎日いろいろなトラブルが起こります。子ども達の様子から些細なことでも担任が一早く気付き、声をかけたり手を差し伸べたりしていくことが重要だと改めて気づくことが多く、そのためにも日頃から子ども達の様子をよく見て少しの変化にも気づけるようにしていくことを心がけています。

子ども達は私たちのことを本当によく見ていて、私たちが頑張っていれば子ども達も頑張ろうと応えてくれます。子ども達のことを第一に考え行動できる教師には子ども達もきっとついてきてくれると思います。教師は、大好きな子どもたちとずっと一緒に過ごし、毎日の小さな変化や成長をすぐそばで見届けられるとても素敵な仕事です。そんな職場でこれから皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

最後になりますが、私は大学四年間を自分にとって大切な時間であったと心から思っています。数多くの学び、たくさんの経験、先生方、友人との出会い。全ての支えがあって今があると思っています。社会人となった今も、連絡を取り合い時には相談し、時には励まし合い、時には一緒に遊び、様々な時間を共有しています。皆さんにも残された大学生活の中での多くの経験や出会いの一つ一つを大切にし、これから社会人となる活力の源となるものを見つけてほしいと思います。



『夢を叶えて』

濱砂 花菜

現 宮崎市立小松台小学校

(教育学研究科 教職実践開発専攻 教職実践高度化コース 教育課程・授業研究分野
令和4年3月修了)

宮崎大学教職大学院を修了し、教員として教壇に立ち、約5か月が経ちました。忙しい毎日ですが、3年生の32名の子どもたちと充実した時間を過ごしています。それは、初任者指導の先生や学年の先生方をはじめとする多くの先生方が業務を分かりやすく教えてくださったり、小さなことでも相談に乗り、励ましてくださったりするからこそだと思います。

働き始めて、大学院に進学して良かったと思うことが多々あります。私は、学部のおときから教職実践基礎コースの先生方に指導していただき、計6年間指導していただきました。そのため、「児童のつぶやきをひろう」「効果的な資料提示の在り方」等自分の苦手な部分を的確に指摘していただき、様々な指導や助言を受けながら学ぶことができました。そのため、学部を卒業した時に感じていた不安を軽減することができました。特に、大学院で計10週間の実習や授業研究を通して、様々な先生方から適切なアドバイスや丁寧な指導をいただいたことは、さらに自分の苦手な部分と向き合うことができ、少しずつですが自信をもつことができました。さらに、実習に臨むにあたって、自分の苦手・伸ばしたい部分のレベルを設定し、毎時間反省・改善を行うことができました。

他にも大学院では、授業に関するだけでなく、生徒指導や児童理解、保護者との関わり方等を学びました。しかし、学級担任になってみると、分からないことばかりで、自分の言動に誤りはないか、筋が通っているのか、失礼に当たらないか等悩むことばかりです。これは、人と人との関わりのため、「これだ!」という正解はなく、これからも悩むことだと思います。しかし、大学院で学んだことを生かしつつ、同僚の先生方からアドバイスをいただきながら、今後も向き合っていきたいと思います。

これからも様々なことがあると思いますが、常に学び続ける姿勢で取り組んでいきたいと思っています。児童に寄り添いながら、ともに学び、成長していきます。

